

オバマ大統領、米国教育制度改革を目指して教育ラウンドテーブルを開催（7月18日）

大統領府は 18 日、オバマ大統領主催により、米国教育制度改革に向けた教育ラウンドテーブルを開催した。同ラウンドテーブルには、教育省（Department of Education）のアーネン・ダンカン長官（Arne Duncan）やアメリカズ・プロミス連盟（America's Promise Alliance）の設立者であるコリン・パウエル氏（Collin Powell）のほか、インテル社（Intel）、マイクロソフト社（Microsoft）、アクセンチュア社（Accenture）等の大手企業の最高経営責任者（CEO）や幹部が企業パートナーの代表として参加し、米国の教育水準の向上と競争力の高い労働者の創出に向けた官民連携の教育プログラムについて議論を実施した。オバマ大統領は、こうした米国大手企業との間で、科学・技術・工学・数学（STEM）分野の教育強化やコミュニケーションとのパートナーシッププログラムの実施などのイニシアチブを行うことで、民間からの金銭的支援の獲得や専門技能育成の推進に今後も取り組む考えである。

Whitehouse.gov, *President Obama Meets with Powells and Leading CEOs on Making Investments to Ensure a Competitive US Workforce*

<http://www.whitehouse.gov/the-press-office/2011/07/18/president-obama-meets-powells-and-leading-ceos-making-investments-ensure>